

南中 便り

The Letter from Minamiōsawa!

令和8年4月10日
第1号
南大沢中学校

協力 勤勉 善良



令和8年度がスタートしました

校長 荻原 隆行

4月6日に始業式を行い、新2, 3年生が元気な姿を見せてくれました。その2日後、4月8日の入学式では、49名の新入生を迎え、生徒総数180名で令和8年度の教育活動をスタートしました。教職員は総勢46名となります。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、心よりお喜び申し上げます。今年度1年間、生徒たち一人ひとりが自分の力を思う存分発揮し、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、皆様方のご理解とご協力をいただきながら、教職員一丸となって頑張ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

以下に今年度入学式で新入生に贈った式辞を掲載いたしますのでご覧ください。

令和8年度入学式式辞(抜粋)

新入生の皆さん、今、皆さんはどんな思いでその席に座っていますか。新しい仲間と新しい生活に、ワクワクする気持ちと、うまくやっていけるか不安な気持ちが、入り交じっているのではないかと思います。でも安心してください。南大沢中の先生方や上級生は、優しく、皆さんを、導いてくれます。最初はとまどうこともあるかもしれませんが、必ず、中学校生活を楽しめるようになるはずです。

さて、今回私は、みなさんに、中学校生活で心掛けてほしいことを一つ、お話ししたいと思います。

それは、「人との出会いを大切にしてほしい」ということです。これからの中学校生活では多くの人と出会うことでしょう。

皆さんは、ズートピアという映画を見たことがありますか。動物たちが人間のように暮らす文明社会「ズートピア」を舞台に、警察官になりたいと願うヒロイン「うさぎのジュディ」と「キツネのニック」が出会い、事件を解決していくというアニメーション映画です。性格も生きてきた道のりも全く違うジュディとニックですから、最初のうちはすれ違いが多く、どうしても摩擦が生じる関係でした。しかし、多くの試練を乗り越えていくうちに、絆が深まり、最終的には欠かせない相棒となっていくます。そして、クライマックスでは、ニックが次のような素晴らしい名言を残しています。

「違いを埋めようとしなくていい。お互いの自分らしさによって一緒にいると強くなれるんだ」

出会いは新しい自分の発見につながります。人はそれぞれ性格や考え方も違うし、行動も異なります。今まで「こうしなければならない」と思っていたものが、人との出会いによって「こんな考え方もあるのか」と自分を新しく変えていくことができます。また、人との交流を通して、考え方の多様性を認め、支えあい、励ましあうことが温かい人間関係を生み、お互いを大切にする雰囲気を作り出すこともできます。

皆さんが、新しい友だち、新しい先生方、多くの保護者や地域の方々との出会い、支えや励ましをもらいながら中学校3年間で自分の得意なこと、やりたいことを見つけ、自分の良いところをどんどん伸ばしながら活躍してくれることを願っています。

(以下略)

